

新天地より

加治木高校生徒会新聞
軌跡



第10号
2023.05.02.(火)

制作
下村将太郎

発行
第75代生徒会

一、新天地より
二、連載企画紹介
三、言の葉
四、革新 生徒心得

五、二百字の本棚
六、LOGICAL
七、編集後記。



四月六日に令和五年度始業式が、七日には入学式が行われ、加治木高校でも令和五年度の学校生活が始まりました。

今年度は、三百十四名の一年生が新たに校門をくぐりました。一年生の皆さん、ようこそ加治木高校へ！二・三年生の皆さんも、新しい季節を迎え、新しい環境に身を置くことになり、いま、どんな心持ちでしょうか。卒業までの時間が少しずつ短くなり、やりたいことややるべきことに、より一層真摯に向き合っているかなければならないように思います。残りの高校生活で、それぞれに充実した時間を積み上げていけると良いですね。

第七十五代生徒会の任期も、残すところあとわずかとなりました。五月十六日には生徒総会が行われます。運営への協力と活発な意見発表を、よろしくお願いします。

連載企画紹介

生徒会新聞『軌跡』で掲載している四本の連載記事を紹介します。

『言の葉』

偉人の言葉や小説の文章などから、心に残る言の葉を毎号ひとつ紹介します。

『好きになっちゃう放課後』

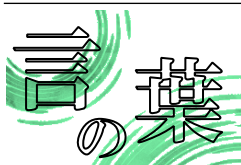
毎号一人の先生が、学問の「好き」を語ります。その学問が思わず好きになっちゃう、知に溢れた放課後の時間です。

『二百字の本棚』

一冊の本を、ちょうど二百字の文章で紹介します。素敵な本に出会えますように。

『LOGICAL』

知識がなくても解ける、でも少し頭を柔らかくしないと解けない、論理クイズを掲載するコーナーです。



人間は神が創ったということは僕は信じられない。
神が創ったものとしては人間は不完全すぎ、無常すぎる。
しかし自然が生んだとしたら、あまりに傑作すぎるように思えるのだ。

武者小路実篤

革新

生徒心得

一 校則

加治木高校生は、自らの自治精神に基づき主体的に考え、加治木高校生としての清潔さと品位を損なわない行動及び容儀を心がけることとする。しかし生徒は、細かく定められた規定によって、自らの主体性及び個性を過剰に損なわれてはならない。

二 服装・頭髪等の規定

(一) 服装等に関する事

① 制服 本校指定のもの。スカート丈は膝が隠れる程度とする。

② 校章・学年章 所定の位置につける。

③ 靴 白または黒を基調とした運動靴、または黒い革靴とする。

④ 靴下 白・黒・紺色とする。ルーズソックス・くるぶし下の短ソックスは不可。ワンピース・タイツは華美でないものとする。

⑤ ベルト 黒または茶とする。

⑥ 下着 華美でないものとする。

⑦ マフラー・手袋 華美でないもの。校舎内での着用は認めない。

⑧ 防寒着 黒・紺・茶・グレーの無地のVネックセーター・カーディガンは可。ただし、上着の袖、裾からはみ出さないようにすること。膝掛けの使用は可。また通学時、黒・紺で無地のコートの着用を認める。↘

令和五年度から生徒心得の内容が大きく変更されました。今回の改訂にあたっては、「これからの時代」に合致した、そして何より「生徒の声」に寄り添った内容を目指しています。

内容をしっかり把握し、学校生活を送ってください。

⑨ 補助バッグ 黒・紺・茶・白・グレーの華美でないもの、または部活動で揃えたもの。

⑩ 更衣期間 特に指定しない。ただし、学校を代表する場合、入学式、卒業式、その他学校が特に指定した場合は、指示に従うこと。

⑪ 写真撮影 学級写真・個人写真撮影時は、冬服に限定しない。ただし、3年生の卒業アルバム及び受験用の証明写真撮影時は必ず冬服とする。

(二) 頭髪等に関する事

① 髪型 前髪は目にかからない、後髪は必要に応じてくる。特に髪型は定めないが、高校生としての清潔さ、品位を保つこと。

② 眉 整える程度におさめる。

③ ヘアピン・ヘアゴム 色は黒・紺・茶・ベージュ・グレーとする。ただし、装飾がなされているもの及びシュシュは用いない。

④ その他 アクセサリーを身につけない。化粧はしない。(「生徒心得」より)

ここに掲載した内容は、皆さんの生徒手帳にも載っています。各自で確認しておきましょう。



『ジオレタ』 寺地はるな

住宅街に店を構える小さな雑貨屋「ジオレタ」。そこは、どうしても捨てられない思い出の品や行き場のない感情を埋葬する、「棺桶」を売る店。とある出来事をきっかけにこの店で働くことになった妙の心は、少しずつ新しい形を手に入れてゆく。

「さびしいのは標準仕様でしょ。なんていうか、人間の」。ありふれた小さな世界で、人の心が触れ合うやさやかな日常を描き出す。優しい筆致に定評ある作家・寺地はるさんのデビュー作品。

LOGICAL

VII

今回は、一年生への企画説明ということで、少し易しめの問題を出題します。頭を柔らかくして、考えてみてくださいね！直観に反する、少し不思議な論理クイズです。それは、問題。

今回の問題 五匹の猫は、五分で五匹のネズミを捕まえることができると言われています。このとき、百分で百匹のネズミを捕まえさせるには、何匹の猫が必要？

編集後記

もう五月はじめだというのに、最近では寒空の日が多いようです。未だ冬が過ぎ去っていないのでしょうか。そして、曇り空の日も増えてきました。梅雨の湿った空気は重いうえに、片頭痛に悩まされるなど、あまり好きな季節ではないという人も多いかもしれませんね。二・三年生の皆さんは、お久しぶりです。一年生の皆さん、はじめまして。生徒会新聞担当の下村です。始業式・入学式を終えてから一か月ほどが経ちました。新しい環境には慣れてきたでしょうか。学級のメンバーで経験する行事としては最初となる遠足の日も、生憎の雨模様でしたが、思い出になる時間を過ごせましたか？三年間しかない高校生活のすべての一瞬を、素敵に過ごせると良いですね。

先日のロングホームルームの時間に、生徒総会に向けた事前討議を開き、各学級から学校への意見を提出していただきました。たくさんさんの意見がありがとうございました。生徒総会は五月十六日に開催されます。運営へのご協力も、よろしく願います。

さて、今回は、令和五年度最初の生徒会新聞でした。ここまで読んで下さった皆さん、ありがとうございます。第七十五代生徒会の任期も残りわずかですが、新聞はこれまで通り、月一号を目安に最後まで発行していきます。それでは、次号もお楽しみに。

(下村 将太郎)